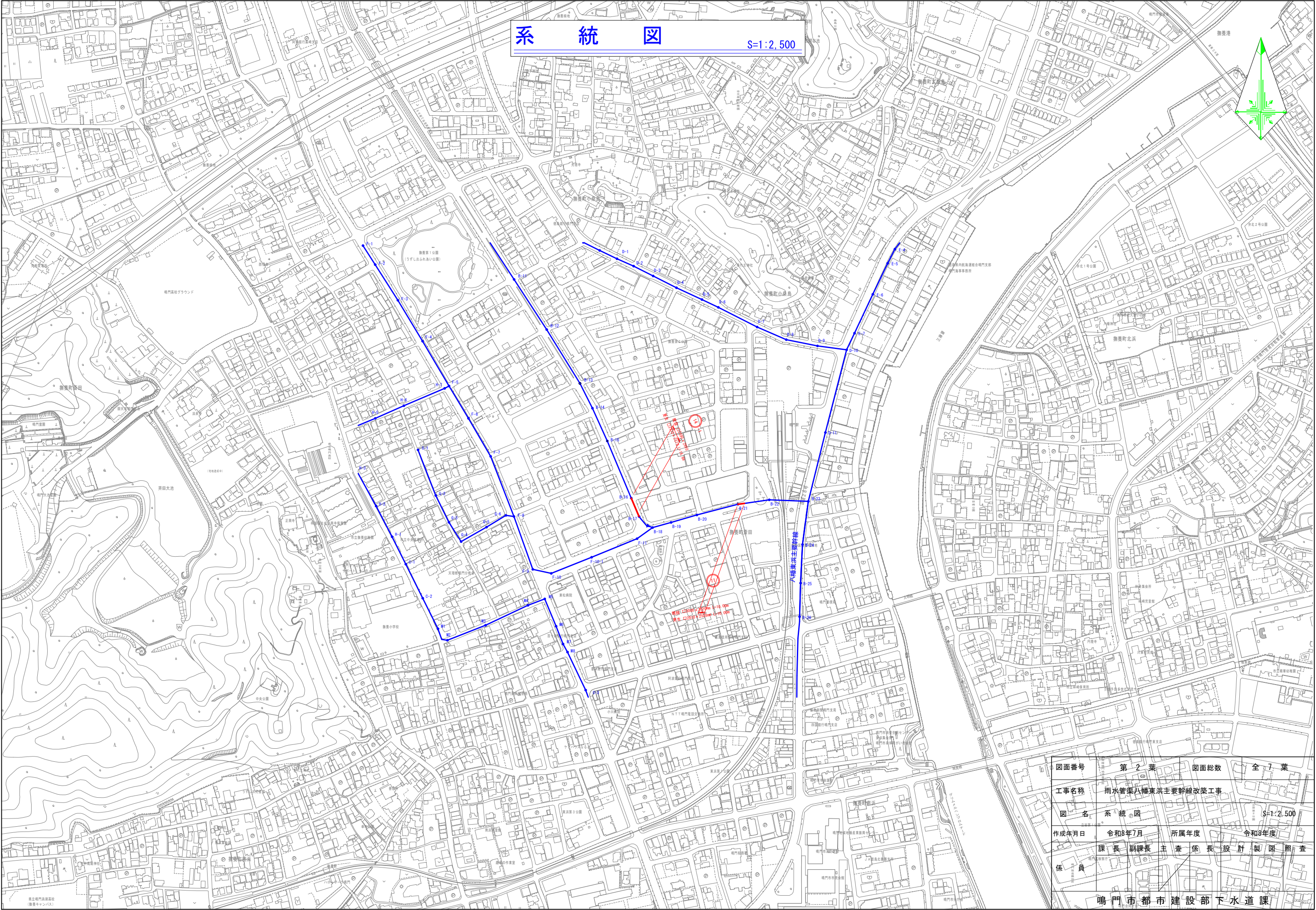


$\delta = 1 : 10,000$ 

図面番号	第 1 葉		図面総数	全 7 葉			
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事						
図 名	位 置 図			S=1:10,000			
作成年月日	令和8年7月		所属年度		令和8年度		
係 員	課 長	副課長	主 査	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴門市都市建設部下水道課							

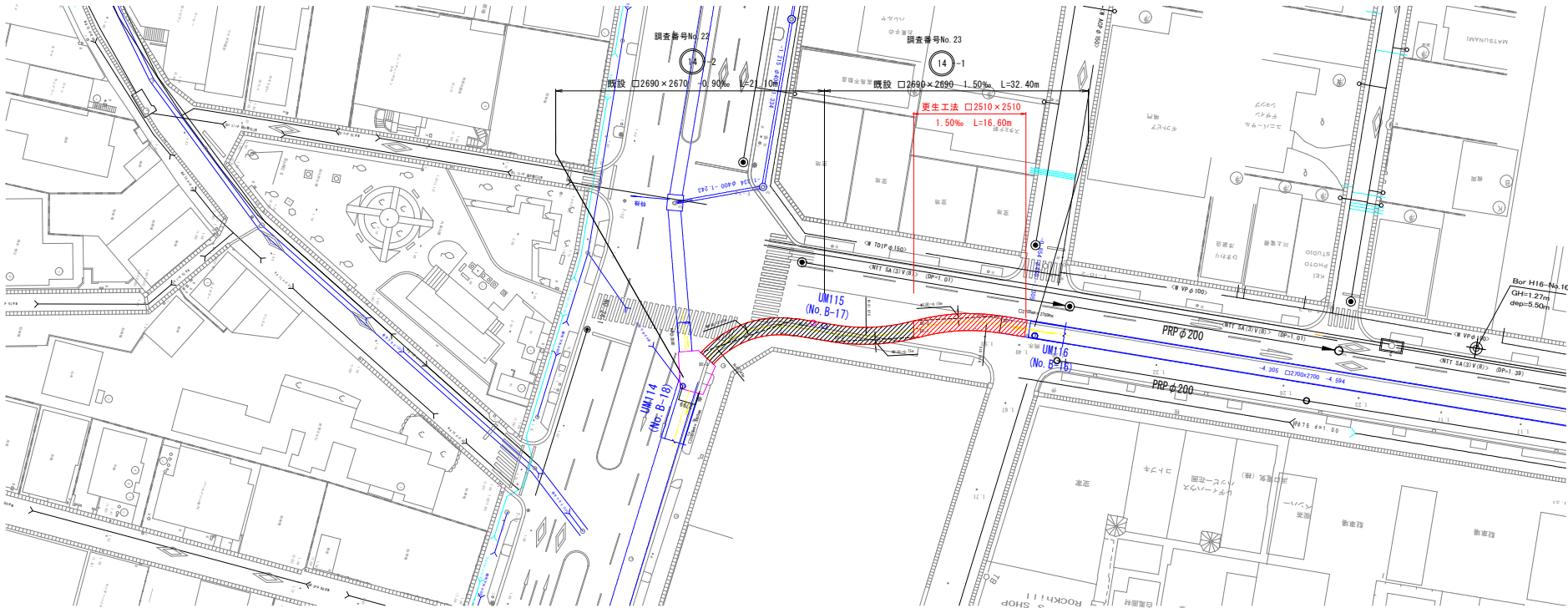
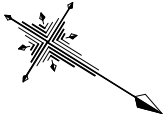


系統図

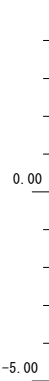
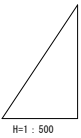
S=1:2,500

図面番号	第 2 葉	図面総数	全 7 葉
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事		
図 名	系 統 図	S=1:2,500	
作成年月日	令和8年7月	所属年度	令和8年度
係 員	課 長	副課長	主 査
	係 長	設 計	製 図
鳴 門 市 都 市 建 設 部 下 水 道 課			

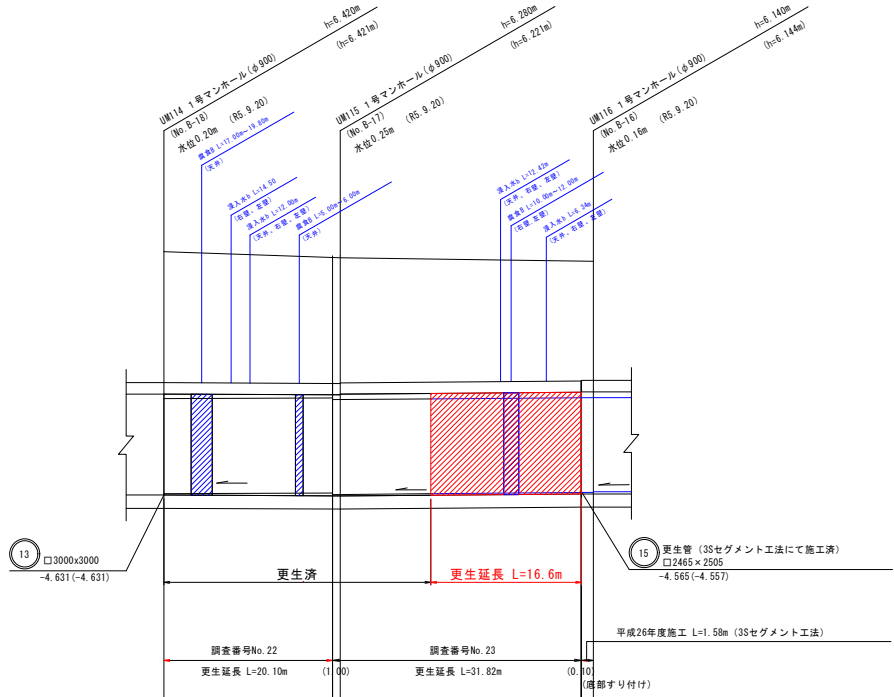
平面図 S=1:500



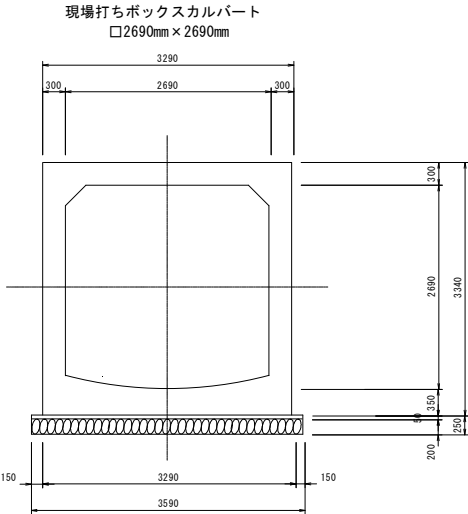
縦断面図 V=1:100 H=1:500



DL=-10.00



現況断面図(14-1)路線 S=1/50



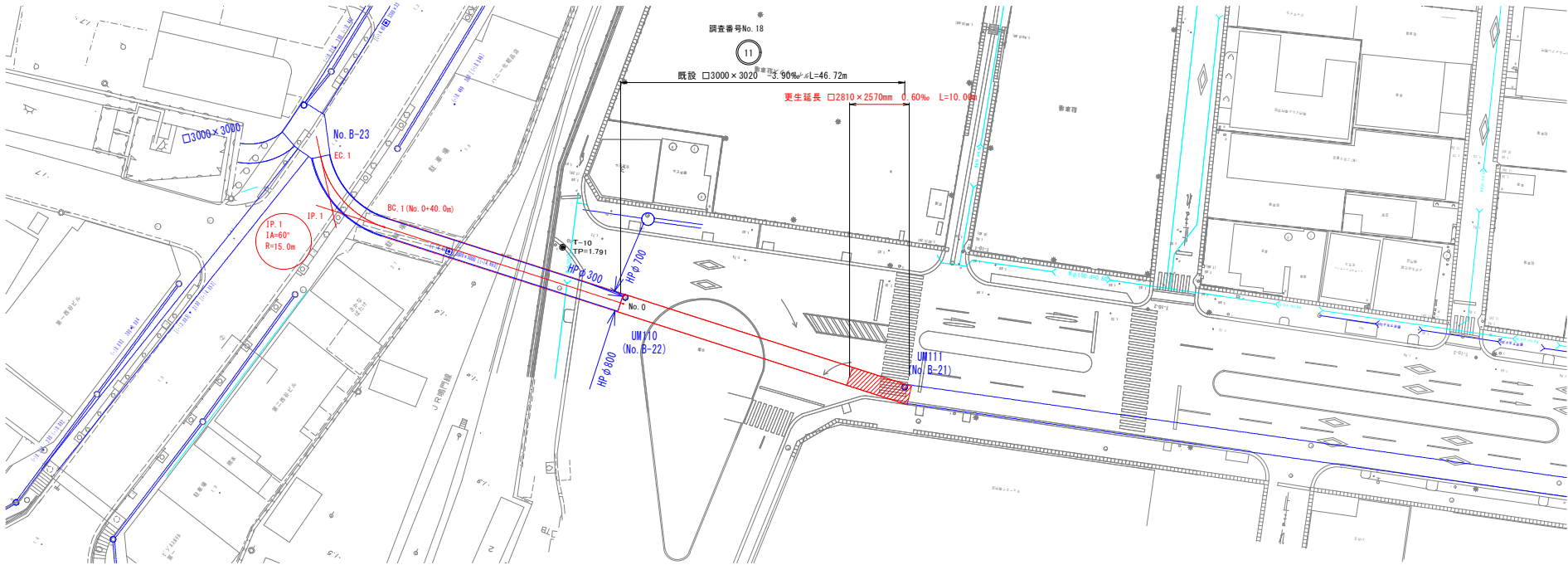
※縦断面図の()の値は台帳値である。
<>は現況勾配である。

路線番号
管径
勾配
人孔間距離 (管体延長)
土被り
既設管底高
計画管底高
地盤高
単距離
追加距離
測点

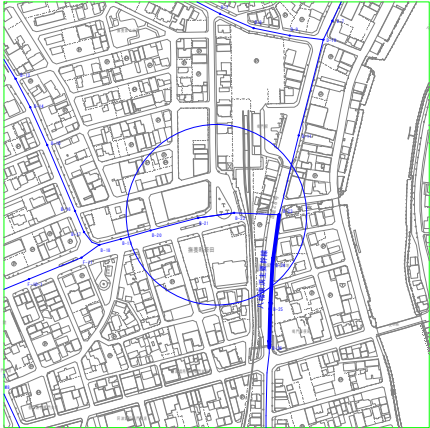
八幡東浜主要幹線 ⑭-2		八幡東浜主要幹線 ⑭-1	
更生 口2510×2455mm (既設 口2690×2670mm)	更生 口2510×2510mm (既設 口2690×2690mm)		
0.60‰ <-0.9‰>	1.5‰ <1.5‰>		
21.10m (23.00m)	32.40m (33.50m)		
3.46 (3.42)	3.31 (3.22)	3.14 (3.14)	
-4.831 (-4.831)	-4.652 (-4.831)	-4.802 (-4.894)	
-4.591 (-4.591)	-4.456 (-4.562)	-4.512 (-4.594)	
1.79 (1.79)	1.65 (1.64)	1.53 (1.54)	
0.00	21.10 (23.30)	32.40 (33.50)	
0.00	21.10 (23.00)	53.50 (56.50)	
UM114 (No. 8-16) QL=15.1m (R=14.2m) L=6.00m	UM115 (No. 8-17) QL=19.7m (R=14.5m) L=6.2m (R=49.8m) L=4.8m	UM116 (No. 8-18)	

図面番号	第 3 葉	図面総数	全 7 葉
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事		
図 名	平面図・縦断面図 14-1路線		
作成年月日	令和8年7月	所属年度	令和8年度
係 員	課 長	副課長	主 査
			係 長
鳴 門 市 都 市 建 設 部 下 水 道 課			

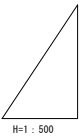
平面図 S=1:500



位置図 S=1:5,000



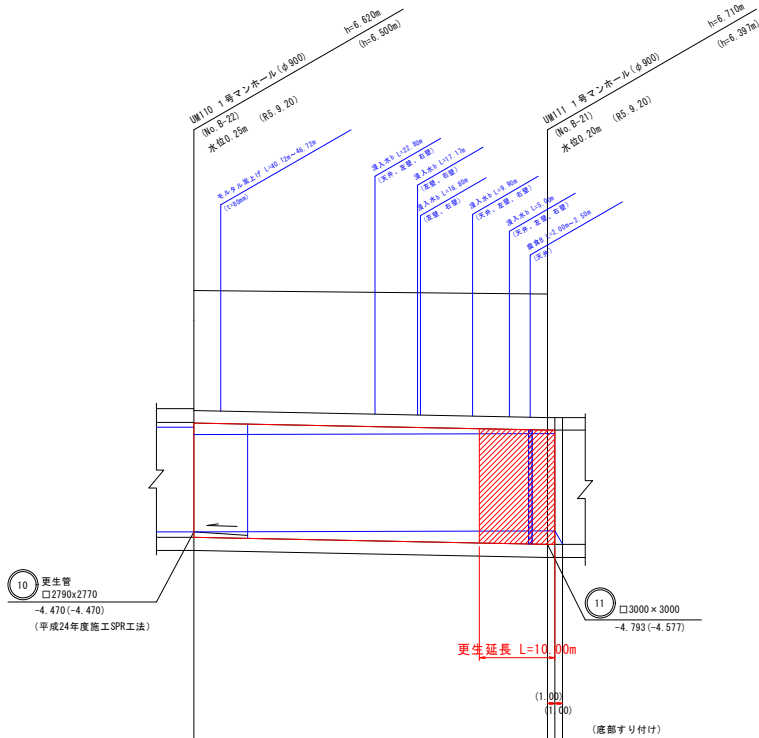
縦断面図 V=1:100 H=1:500



0.00

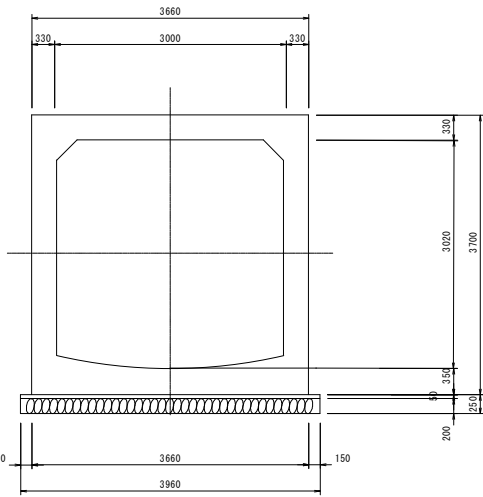
-5.00

DL=-10.00



現況断面図 S=1/50

現場打ちボックスカルバート
□3000mm×3020mm



※(11)は逆勾配のため勾配調整を行う。
※縦断面図の()の値は台帳値である。
<>は現況勾配である。

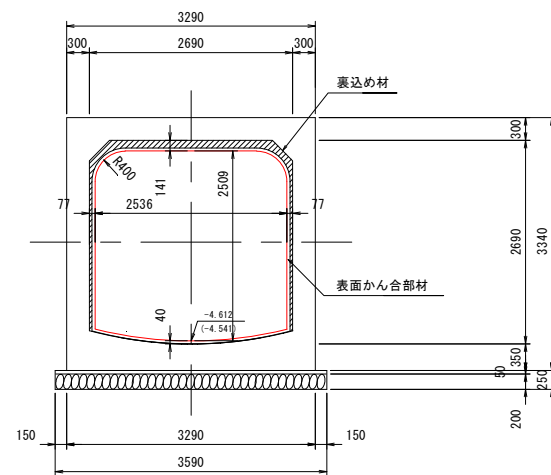
路線番号	八幡東浜主要幹線 (11)	
管径	更生 □2810×2570mm (既設 □3000×3020mm)	
勾配	0.60‰ <-3.9‰>	
人孔間距離 (管体延長)		
土被り	3.25 (3.17)	3.38 (3.07)
既設管底高	-4.611 (-4.611)	-4.793 (-4.577)
計画管底高	-4.470 (-4.470)	-4.459 (-4.222)
地盤高	1.99 (1.89)	1.94 (1.82)
単距離	0.00 46.72 (47.40)	46.72 (47.40)
追加距離	0.00	
測点	UM110 (No. B-22)	UM111 (No. B-21)

図面番号	第 4 葉	図面総数	全 7 葉
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事		
図名	平面図・縦断面図 11路線		H=1:500 V=1:100
作成年月日	令和8年7月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	主査
			係長
鳴門市都市建設部下水道課			

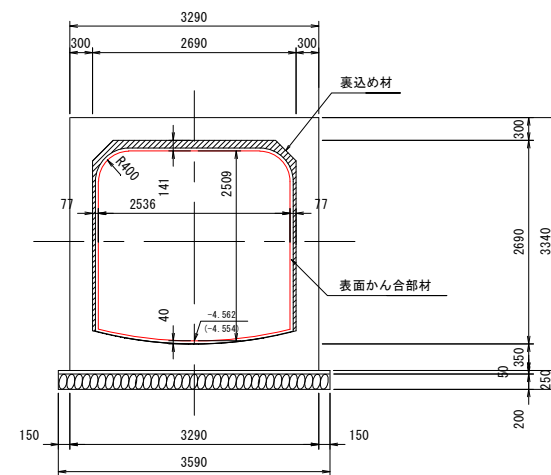
S=1:50

調査番号23

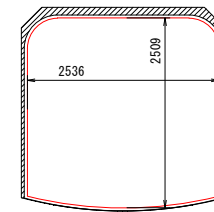
□2510mm×2510mm
上流側



□2510mm×2510mm
下流側



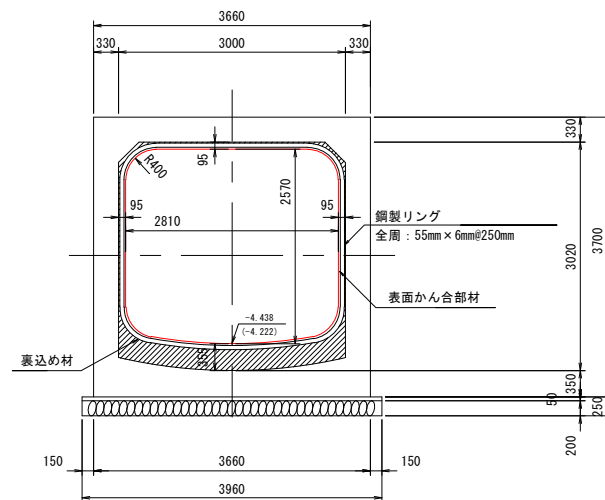
□2520mm×2380mm



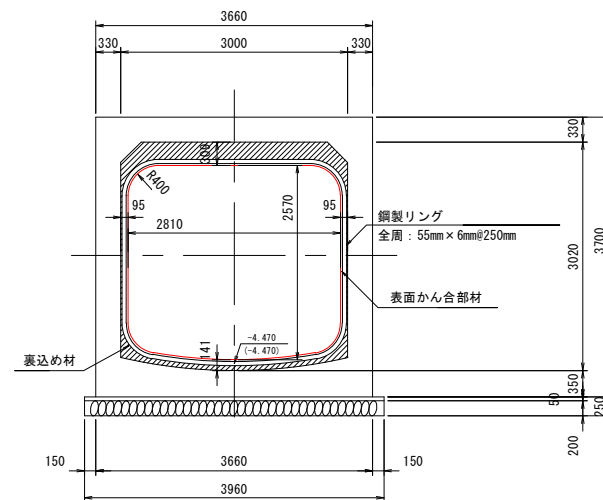
既設管斷面積	7.009m ²
一更生管斷面積	6.163m ²
	0.846m ²

調査番号18

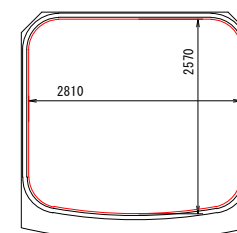
□2810mm×2570mm
上流側



□2810mm×2570mm
下流側



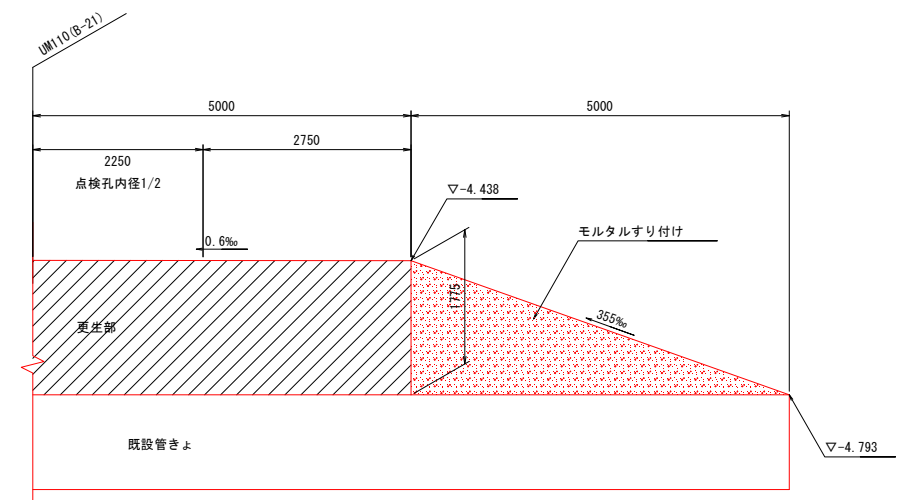
□2810mm×2570mm
上流側



既設管断面積	8.817m ²
一更生管断面積	6.958m ²
	1.859m ²

上流側すり付け参考図 S=1/10

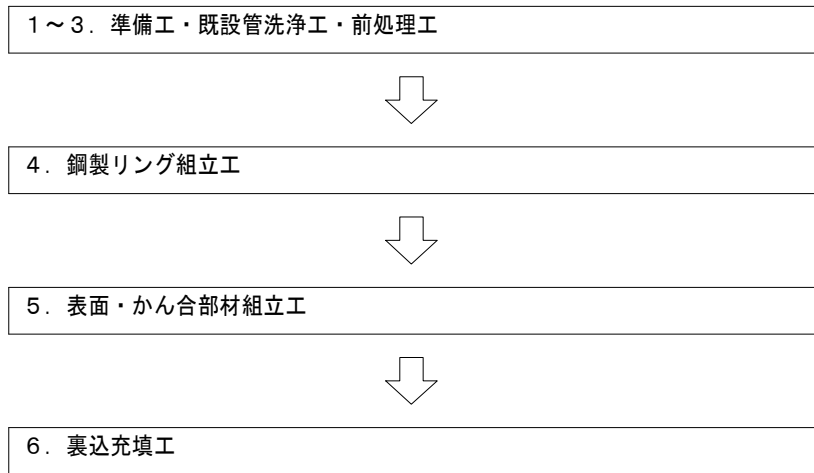
11路線 UM110(B-21)



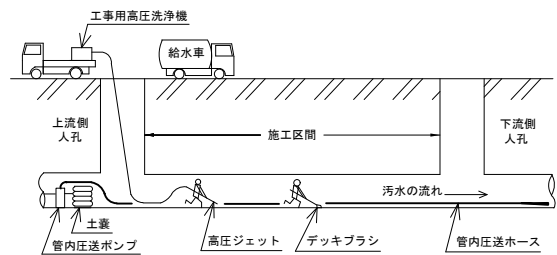
図面番号	第 5 葉	図面総数	全 7 葉				
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事						
図 名	更生断面図 S=1:50						
作成年月日	令和8年7月	所属年度	令和8年度				
係 員	課 長	副課長	主 査	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 市 市 建 設 部 下 水 道 課							

管きょ更生工法（製管工法）施工参考図 （人力かん合）

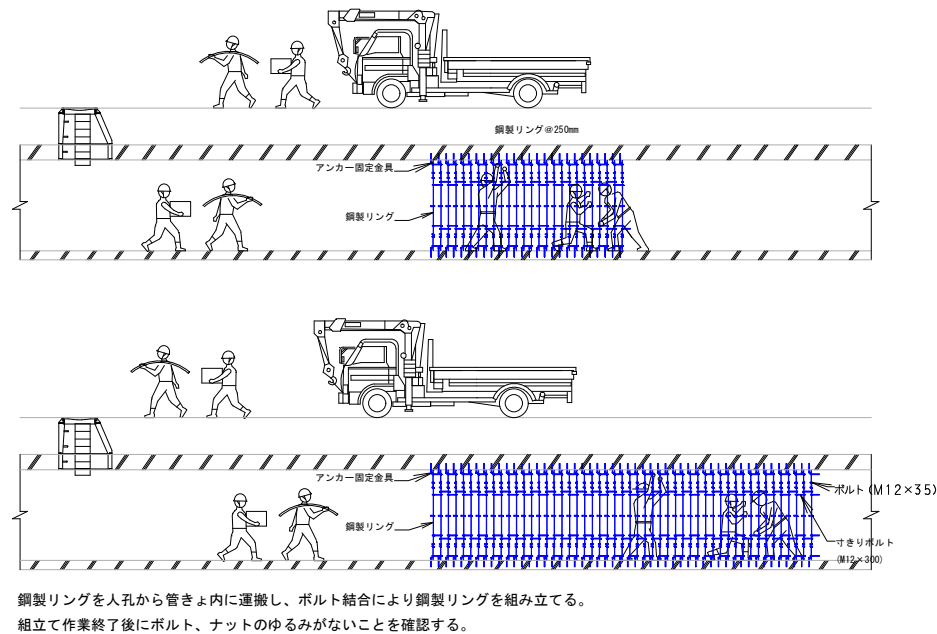
標準作業工程



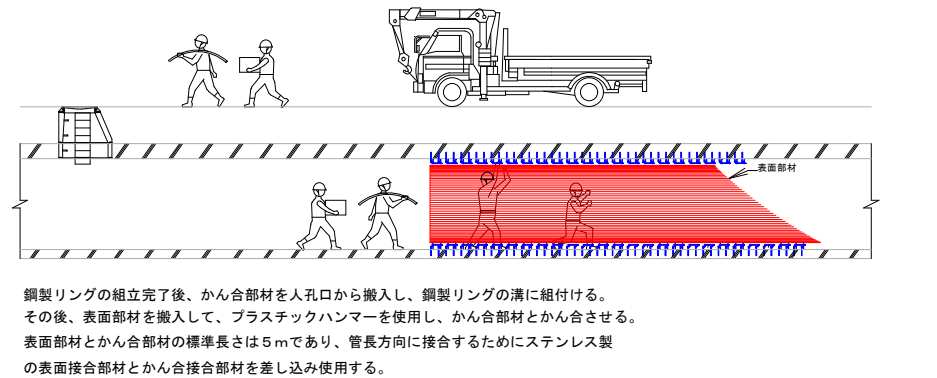
1～3. 準備工・既設管洗浄工・前処理工



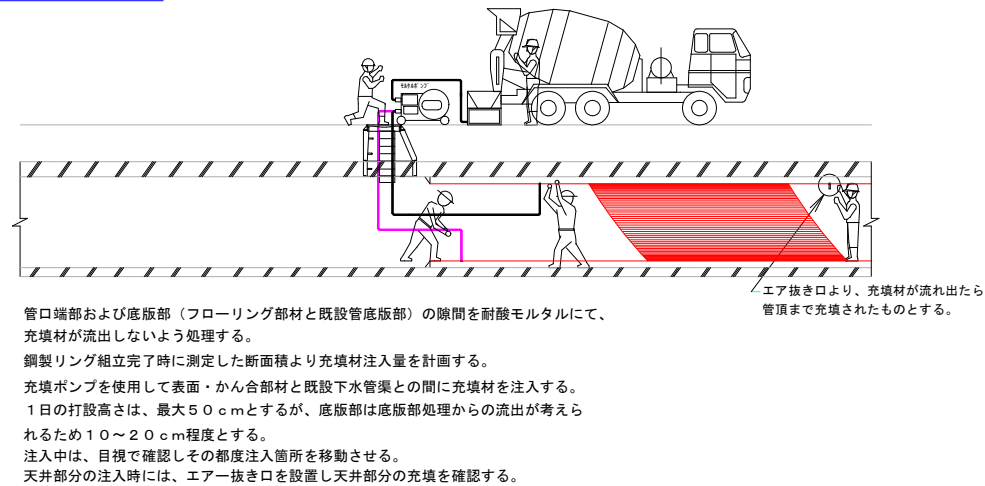
4. 鋼製リング組立工



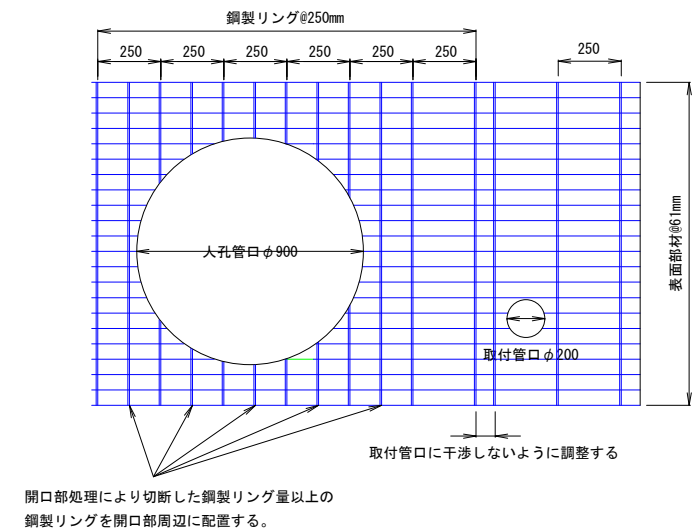
5. 表面・かん合部材組立工



6. 裏込充填工



人孔開口部参考図



- ①事前に取付管部に塩ビ管等の仮配管を接続する。
- ②鋼製リング組立工時、開口部（φ250以上）に干渉する部分の、鋼製リング及び表面部材を切断する。
（φ250未満の取付管については、前後の鋼製リングを干渉しないように設置する。）
- ③切断した鋼製リング量以上の鋼製リングを開口部周辺に配置する。
- ④耐酸モルタル等を使用し、充填材の漏れがないように、端部処理を行う。
- ⑤充填材の硬化後に、仮配管突出し部の切断又は、仮配管の撤去を行い、耐酸モルタル等を使用し、取付管口を仕上げる。

図面番号	第 6 葉	図面総数	全 7 葉
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事		
図 名	管きょ更生工法（製管工法）施工参考図		
作成年月日	令和8年7月	所属年度	令和8年度
係 員	課 長	副課長	主 査
鳴門市都市建設部下水道課			

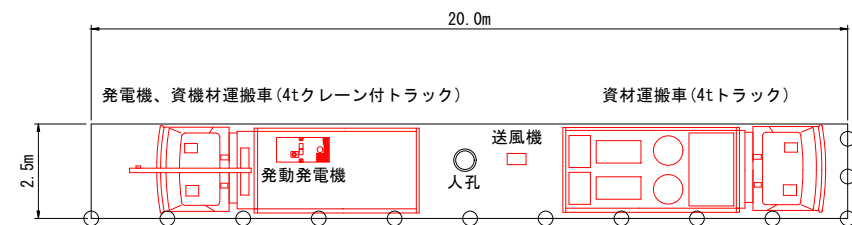
標準施工ヤード参考図 S=1:100

(人力かん合)

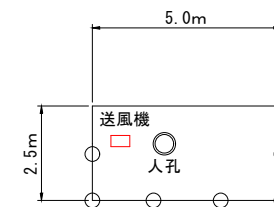
綱製リング組立工

表面・かん合部材組立工

下流側

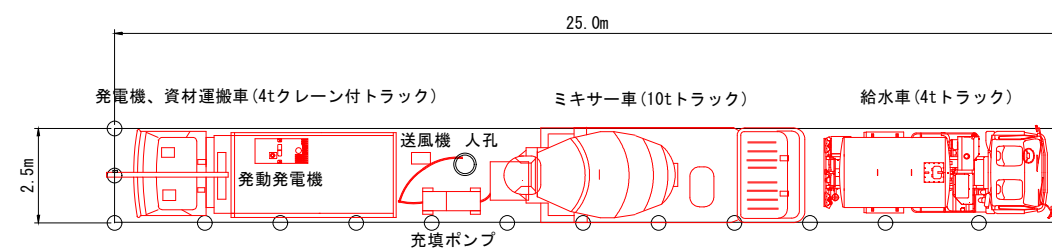


上流側

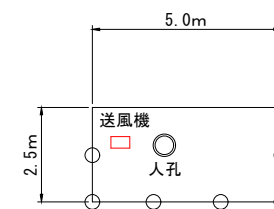


裏込充填工

下流側



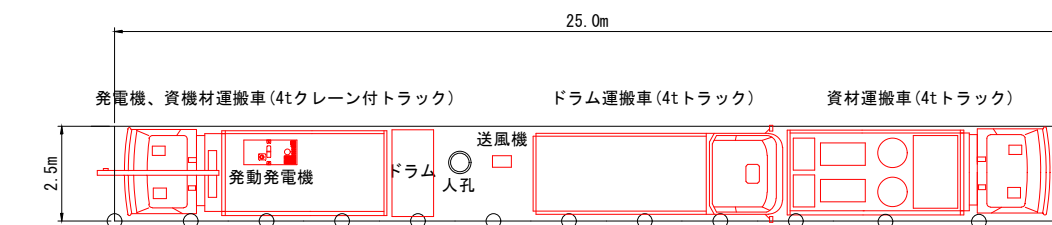
上流側



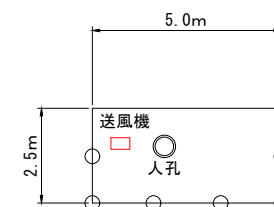
(機械かん合)

製管工

上流側

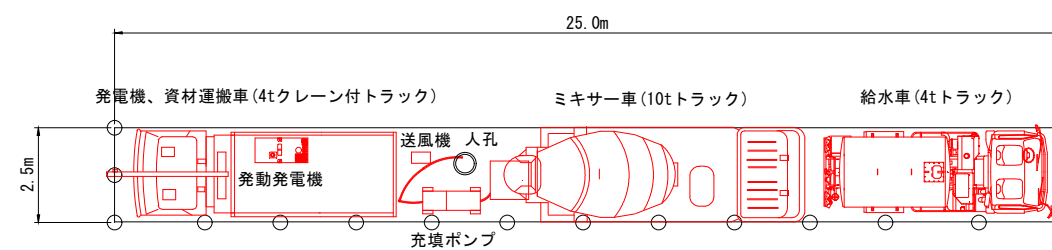


下流側

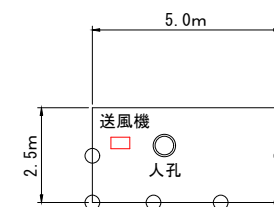


裏込充填工

上流側



下流側



図面番号	第 7 葉	図面総数	全 7 葉				
工事名称	雨水管渠八幡東浜主要幹線改築工事						
図 名	標準施工ヤード参考図						
作成年月日	令和8年7月	所属年度	令和8年度				
係 員	課 長	副課長	主 査	係 長	設 計	製 図	照 査
鳴 門 市 都 市 建 設 部 下 水 道 課							